

十二月九日(木)～十一日

(土)、お台場・東京ビッグサイトにて、「地球と私のためのエコスタイルフェア」エコプロダクツ2004」が開催された。



環境を考える エコプロダクツ2004

エコプロダクツとは、(社)産

業環境管理協会、日本経済新聞社が主催し、「エコ」という大きなテーマについて展示をする、日本最大級の展示会のことである。松下電器・ソニーなど大手有名企業から、環境NGO・高等学校まで出展も可能ということもあり、参加団体は500

団体を大きく超えている。今の日本の企業や行政、大学やNGOが環境課題に取り組んでいる最先端の様子が、一堂に会する一大イベントだ。今年、会期中の入場者は十二万人を超え、過

去最大だった。

この大規模なエコプロダクツ展示会に、今年も環境学科環境アミニティ専攻の学生が、環境プロジェクトでの活動内容をパネル展示した。そして、ブースのデザインは住環境専攻スタッフの製作である。前日の夜八時まで組み立てに時間を要したブースは、ブランドマークの「スターリンク」を基調に、全体が鮮やかなピンク色に、白地の模様が入り、周りの出展ブースよりひと際目立っていた。

展示内容は、環境プロジェクト特別演習という授業成果の紹介で、他大学とは異なり、地域・NPO・企業・自治体と連携したものである。具体的には、大学周辺の自然実態調査からまちづくりまでとても幅広く、バラエティにとんだ内容であった。詳しく、分かりやすい展示内容で、見に来ている人たちにもとても好評であった。

「自分たちが出展することは、とても大切なことです。それに加えて、ほかに出展している企業や学生団体の展示を見て、学生たちが環境についてさらに考え、さまざまな分野があるとい

うことを知ってもらいたいです」と環境学科の村松陸雄先生は語る。

環境について考えるということとは、とても複雑で実に難しいものである。そして、解決策がなかなか見出せない問題でもあり、

展示会場をくまなく歩いて、さまざまな考え方を持った「エコな人」に出会うことが出来た。人間と社会が共生する社会づくりとは、一体どういうものなのか。改めて考えさせられる時であった。

さらなる発展が期待されるエコプロダクツ。来年もぜひ足を運びたい。

(人見早苗・現社)



今年もがんばりました!!